



災害時の指定緊急避難場所・被災者支援拠点

菊陽町光の森防災広場が完成しました

☎ 危機管理防災課 防災安全係 ☎(232)2110

キャロップピアの北側に整備していた光の森防災広場が完成し、4月から開放しています。

指定緊急避難場所とは

光の森防災広場は、光の森町民センター「キャロップピア」の北側に位置する指定緊急避難場所です。指定緊急避難場所とは、災害発生直後に一時的に避難する場所です。身の安全が確保できたら、ご自宅などで過ごすこととなります。平成28年熊本地震の際にキャロップピアが混雑したことや、周りの生活環境などから、この場所に整備しました。

被災者支援拠点として

防災広場は、指定緊急避難場所と被災者支援拠点の2つの面で利用できるように整備しました。主な防災施設を紹介します。

町ホームページに



掲載しているパンフレットもご覧ください。

① 築山

災害時に子どもたちのストレス解消ができるよう整備しました。

② あずまや

テント生地のカートンを備え、災害時にはプライバシーに配慮した利用もできます。簡易救護台として利用できる縁台も備えています。

③ 防災広場（芝生広場）

災害時の避難場所です。避難の原則は徒歩ですが、災害の規模が非常に大きく、やむを得ない場合には車中泊も想定しています。また、被災者支援活動として、ヘリコプターの臨時発着場や、臨時的な入浴施設の設置なども想定しています。

④ マンホールトイレ

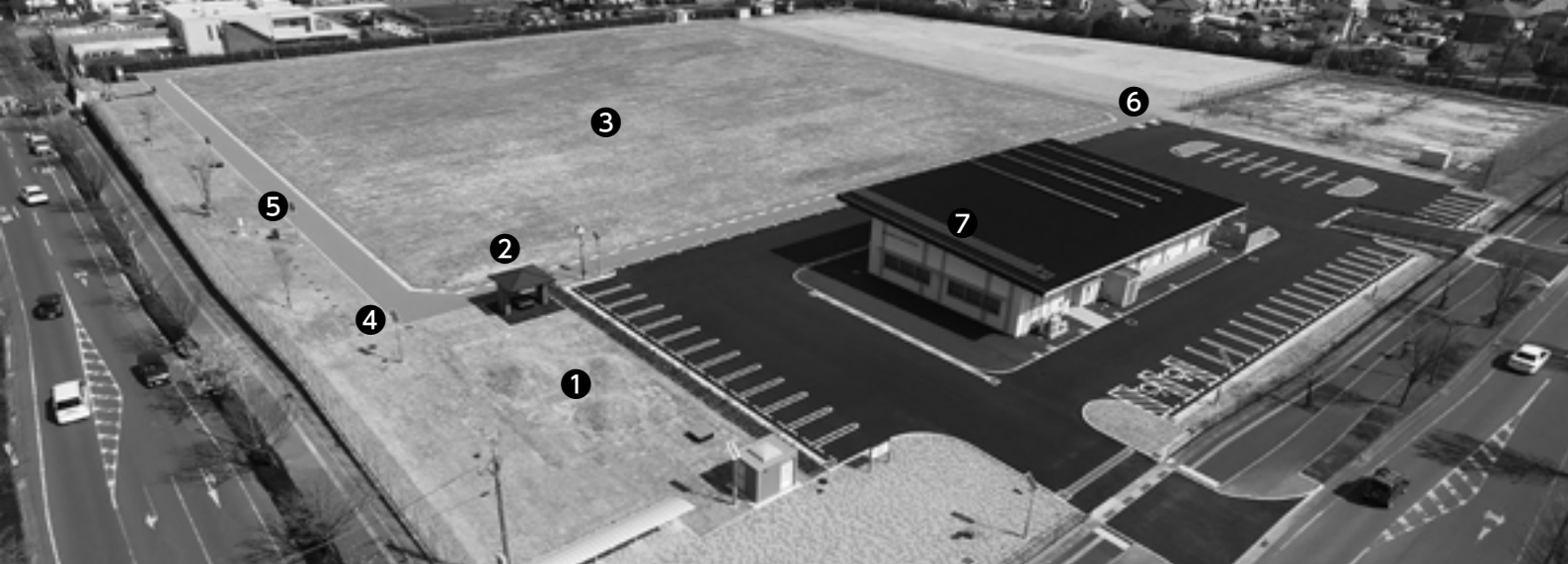
災害時にトイレが不足する場合には、最大でマンホールトイレ10基が設置できます。

⑤ 防災井戸

災害時には、手洗いや洗物、マンホールトイレの流水など生活用水に利用できます。飲用はできません。

⑥ 耐震性貯水槽

災害時の飲料水として、60トンの耐震性貯水槽を整備しています。1



人を守る！地域を守る！みんなの笑顔のために！
菊陽町消防団員を紹介します

☎ 危機管理防災課 消防交通係 ☎(232)2110

4月に総勢404人（本部機動隊55人を含む）の新体制が発足。団長に紫藤秀幸さんが就任、副団長に合志和彦さんが再任、大塚敏さんが就任しました。第1分団から第5分団の分団長と副分団長は次のとおりです（敬称略）。



団長
紫藤 秀幸



副団長
合志 和彦



副団長
大塚 敏

第1分団



副分団長 岩下 勇介
分団長 嶋田 敬之

第1班 井 口	22人	第4班 曲 手	16人
第2班 道 明	5人	第5班 馬場楠	18人
第3班 辛 川	18人	第6班 戸 次	13人

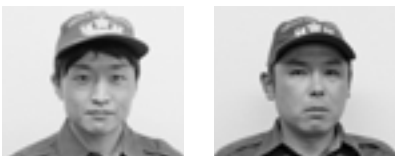
第4分団



副分団長 石本 雅史
分団長 西塔 良平

第1班 沖 野	13人	第3班 新 町	10人
第2班 鉄砲小路	17人	第4班 馬 場	15人

第3分団



副分団長 大山 佑太朗
分団長 満川 裕教

第1班 上津久礼	18人	第4班 八久保	7人
第2班 下津久礼	14人	第5班 新山境の松	20人
第3班 花 立	13人		

第2分団



副分団長 西羅 一輝
分団長 菊池 隆太

第1班 上中代	10人	第4班 川久保	9人
第2班 出 分	15人	第5班 津留大堀木	16人
第3班 中 代	23人		

第5分団



副分団長 山下 徹也
分団長 坂本 博臣

第1班 柳 水	14人	第4班 中 尾	11人
第2班 入道水	11人	第5班 南 方	13人
第3班 古閑原	8人		

消防団員を募集します

あなたも消防団員として活動しませんか。
入団を希望する人、興味がある人は気軽にお問い合わせください。

消防団Q&A

【消防団とは？】

消防団は「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、非常勤特別職の地方公務員として火災や災害時に消火・救助活動を行います。

【働きながらでも参加できますか？】

消防団員は通常、各自の仕事に就きながら、火災時の活動、平時の訓練、防火啓発活動に従事しています。保障制度や退職金制度もあります。

【女性も消防団員になれますか？】

現在、県内に約779人の女性消防団員がいます。本町にも17人が在籍し、主に防火啓発活動を行っています。入団をお待ちしています。



平常時の利用について

平常時は、公園と同じように利用できますが、安全にご利用いただくため、次のことを守ってください。
○ペットを入れないでください。
○自転車やバイクなどを乗り入れないでください。
なお、広場や備蓄棟を公共的団体で利用したい場合は、危機管理防災課にお問い合わせください。



備蓄倉庫の内部

人1日3日として、4,000人の5日分です。
⑦ 防災備蓄棟
備蓄倉庫は、非常用食料や日用品、テントなど災害時に必要なものを備えた物資拠点です。支援物資の受け入れも行います。けが人や妊婦、高齢者など屋内避難が必要な人が一時的に利用する避難室も備えています。